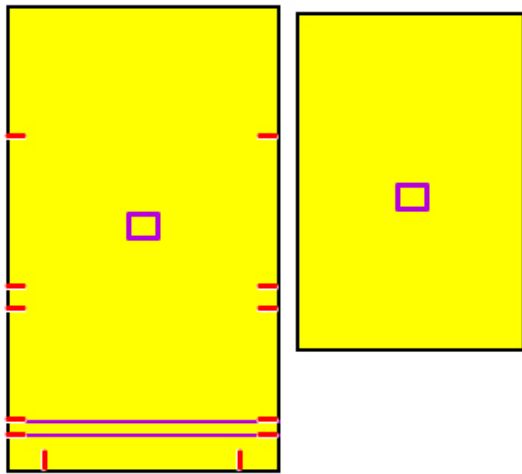
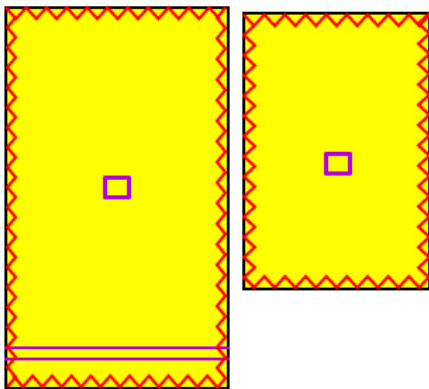


印を写しやすいように型紙のイラストを入れる位置と、マジックテープをつける位置をカッターなどで切り抜いてください。
 布の印のつけ方などわからない方は詳しくは縫う前の下準備をご覧ください。

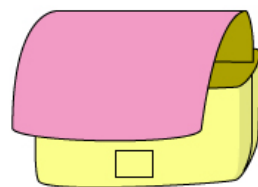
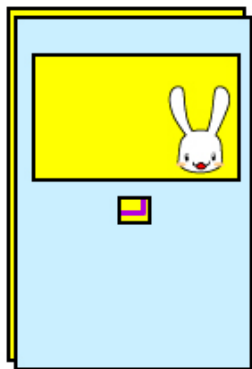


■ 表 ■ 裏

型紙の印があるところを布に写してください
 赤い部分は縫い代に5~7mm切込みを入れてください。
 これでほつれ止めしても印がわかりやすくなります。
 テープ(リボン)とマジックテープをつける位置をチャコペンで布の表に写してください。



布の周りをほつれ止めをしてください。



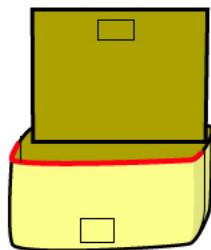
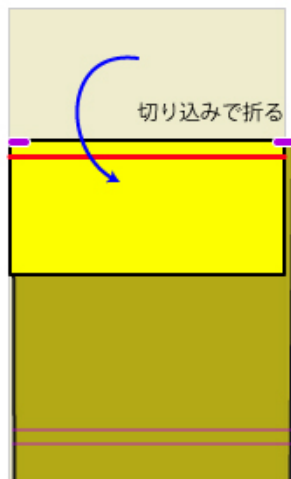
模様を入れたい場合はこの時点で入

れてください。

切ったフタの布の上に型紙を置いて柄を入れられる範囲を確認します。

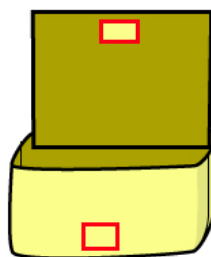
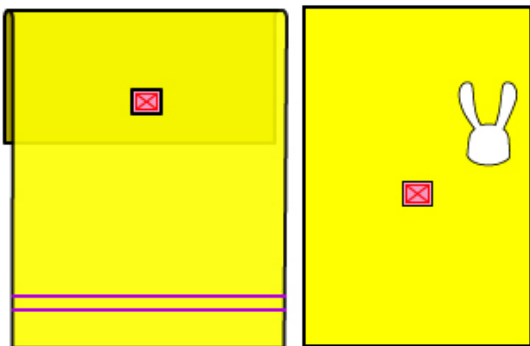
確認したらお好みの方法で柄を入れてください

柄の入れ方は一番下参照。



ポケットの生地を一目の切り込みのところで裏へ折ってください。

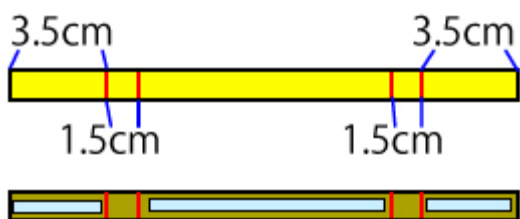
二本線を引いていないほうを折ってください。



印の上にマジックテープを重ね四角く縫ってください。

ポケットのパーツのほうに硬いマジックテープ
フタのほうに柔らかいマジックテープをつけてください。

ポケットは二つ折りしたままファスナーをつけてください

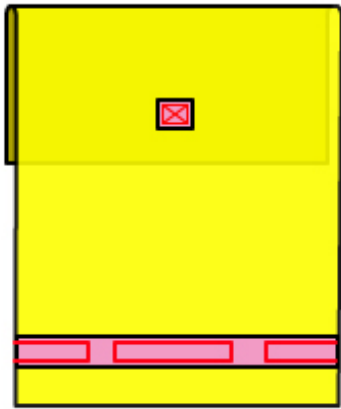


綾テープかりボンを18cmに切ってください。

端から3.5cm、1.5cmの所にチャコペンで裏表に印をつけてください

熱接着の両面テープを持っていれば、水色のところにテープを貼ってください。

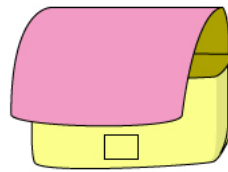
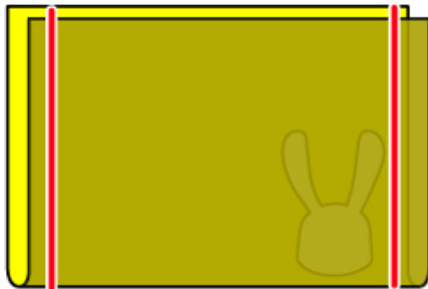
ない場合はまち針を使ってください。



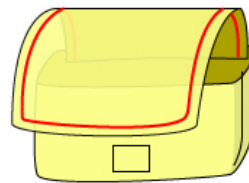
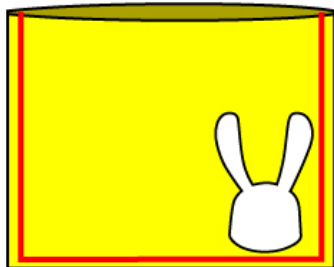
熱接着の両面テープのはく離紙をはがしてください。
横線の上にテープを重ねアイロンで貼ってください。
チャコペンでつけた印を参考に赤い線のところを縫ってください。

熱接着の両面テープの使い方

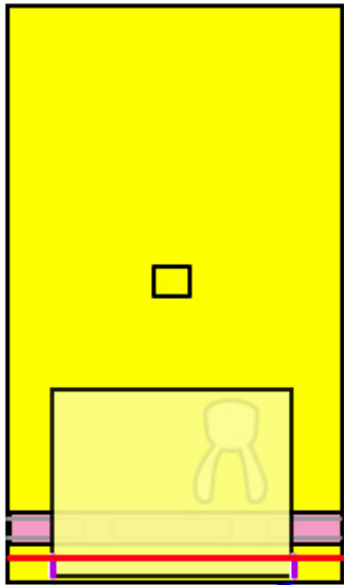
初心者の方向けに熱接着テープを使うやり方で説明していますが慣れている方はそのまま、もしくは待ち針をご利用ください。



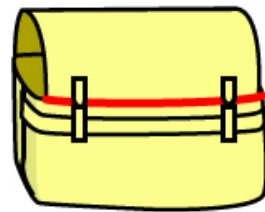
フタを作ってください。
表が内側になるように半分に折って両端1cmを縫ってください。



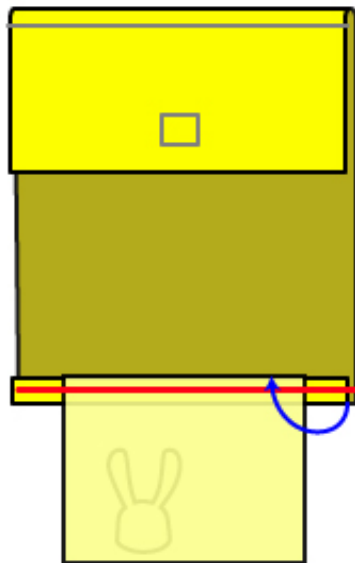
端から5mmの所を縫ってください



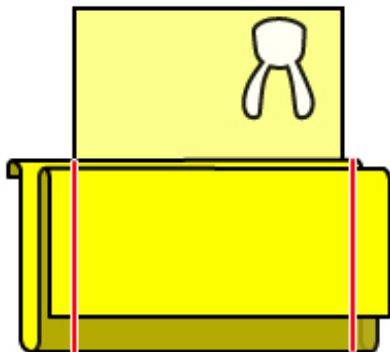
切り込みにあわせる



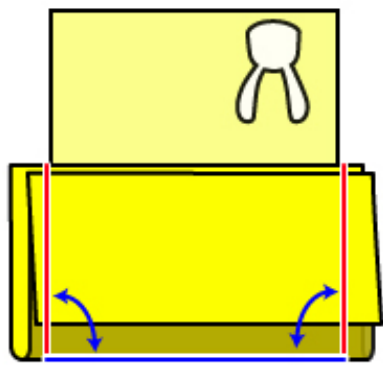
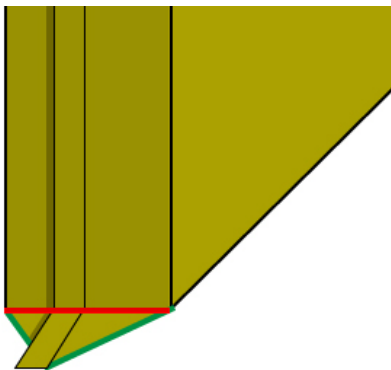
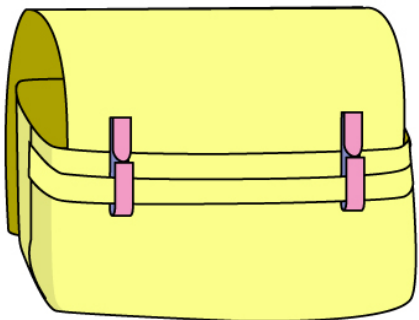
柄の面を下にして袋のパーツを重ね端から1cmの所を縫ってください



裏にひっくり返してください。
ポケットの縫い代を1cm裏へ折って、端から5mm位の所を縫ってください。



ポケット部分を半分に折って、両脇を1cmの所を縫ってください。
マチ(奥行き)がいない場合は、これで表換えしてクリップをつければ完成です。

	<p>マチをつける場合 脇の縫い目と底の縫い目を合わせるように折ってください。</p>
	<p>拡大図 包装紙の角を折ったときのような形になります。 マチの幅が1.5cmになるように赤い所を縫ってください。</p>
	<p>表側にひっくり返してクリップをはめたら完成です</p>

必要な道具

表生地、クリッパー組 リボンかテープ18cm マジックテープ2cm程度

おすすめの生地

シーチング・ブロード 柄物が多く手に入りやすいが、柔らかくしわになりやすいので、この素材を使うときは必ず布を切る前に布の裏全面に接着芯を貼ってください。

綿ツイル チノパンくらいの厚さの生地 これくらいになると芯を貼らなくても大丈夫

接着芯 薄い生地は破れたりシワになりやすいので生地の厚さにあった接着芯を貼る事で補強、しわ防止になります

リボンかテープ

力のかかる場所なので頑丈なのが望ましいが、ない場合はサテンリボンなどでもかまわない